



# 市民ネットワーク議会通信

編集・発行  
市民ネットワーク

〒261-0004 千葉県美浜区  
高洲3-20-45 403号  
Tel&Fax 043-379-4958  
http://shimin-network.jp/



2022(令和4)年 千葉県議会第3回定例会 9月8日～10月6日

## コロナ禍2年目も国の財源を活用し黒字を確保

..... 千葉県2021年度決算を認定 .....

### 一般会計決算

歳入 5,091億1,200万円 歳出 5,026億7,000万円  
実質収支 29億7,900万円(昨年度比27億4,500万円減)



いわさき明子 (若葉区) 松井かよ子 (美浜区) 山田京子 (若葉区)

コロナ禍2年目の決算は、実質収支を確保し、財政健全化指数の改善がみられました。各種施策に、市民に寄り添った事業が多種見られたことから、市民ネットワークは決算を認定しました。(山田京子)

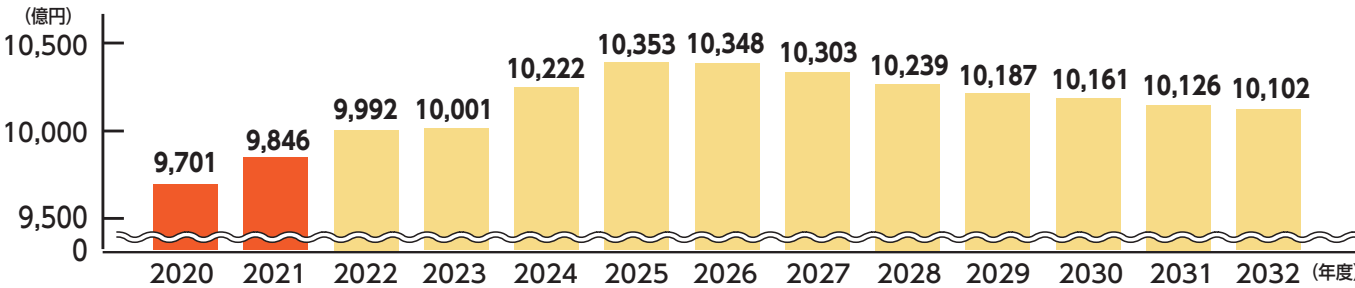
(注1)市の収入に対する実質的な借金の比率  
(注2)市の借入金(地方債など)現在抱えている負債の大きさを、市の財政規模に対する割合で表したものを

2021年度は新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が始まり、国の財源を活用した14回の補正予算が組み立てられ、一般会計予算の財政規模は拡大しました。しかし、市税や地方消費税が予算よりも増収となったこと、歳出において効率的な予算執行に努めたことから実質収支は約30億円の黒字となりました。実質公債費比率(注1)は対前年度比0.6ポイント減、将来負担比率(注2)は対前年度比12.8ポイント減となり改善。各種施策においても、市民に寄り添った下記のような事業が展開されたことを評価しました。

一方、新市庁舎・新病院の建設、区役所など政令市移行期に建った施設の大規模改修などで市債の発行額が増えます。脱・財政危機宣言(2009年)を解消できた千葉市でしたが、再び、財政難に陥らないように気を配る必要が出てきました。将来世代への負担を極力減らしていくためにも、市民にこの財政状況をよく説明し、何を大事にし、何をカットできるのか地域や区の単位で、市民とともに検討していくことを求めました。

健全化は進んだが、再び見え始めた財政運営の厳しさ

### 市債残高(一般会計+特別会計+企業会計)の将来推計



市債(借金)残高の将来推計では、2025年度をピークに増加が予想される(2022年3月時点の市推計を基に市民ネットワークが加工、作成。2022年度以降は予測値)

### 市民ネットワークが評価した主な事業

- 公立夜間中学校の開校決定(美浜区真砂に2023年4月開校)
- 学校給食費の第3子以降の無償化(対象は約5,000人 免除額計約6,684万円)
- 生活自立・仕事相談センターの体制強化(自立相談支援員3人、アウトリーチ支援員1人増員)
- 災害時要配慮者のための個別支援計画作成(ケアマネージャーが地域と連携して作成)
- 女性のためのつながりサポート事業(コロナ禍で不安を抱える女性の相談や居場所提供)
- 緑区役所でのおくやみコーナー開始(死亡後の手続きのワンストップ化)



## 決算審査特別委員会分科会での発言

### 保健消防分科会

#### シルバー人材センターの女性会員確保策は?

千葉市の外郭団体であるシルバー人材センターは、2015年をピークに会員数が減少、契約件数や額も年々減少しています。そこで、女性会員の確保に期待したいと考え、どのような対策を講じるか訊ねたところ、「女性限定の入会募集のチラシの作成・配布」「子育て支援・高齢者支援の需要に対応した講習会や研修会」「生活援助サービスの拡大」「女性交流会の開催」などの取り組みを進めていくとのことでした。期待したいと思います。

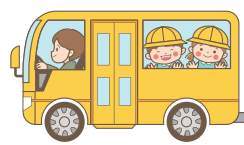
また、原則、会員は個人事業主のため、センターには安全配慮義務がありませんが、全国で会員の事故率が上昇しているとの報道があったことから、事故の際の保障について千葉市独自で検討することを要望しました。

(山田京子)

### 教育未来分科会

#### 園バスへの置き去り 対策への助成を

緊急点検を実施した結果、市内ではこども園など37施設で園バスによる送迎が行われていました(幼稚園は県が実施のため未把握)。ケガなどの事故については市に報告がありますが、園バスへの置き去りは昨年度「報告なし」とのこと。今後、すべての送迎バスに安全装置がつけられるよう、助成を求めました。



#### 『懲戒処分の指針』の見直しを

教育委員会の『懲戒処分の指針』では、教員が児童生徒に恐怖感を与えても、「体罰」ではなく「不適切な指導」とされています。どのような行為が体罰にあたるのか具体例を記し、指針を見直すよう求めました。

(松井かよ子)

### 環境経済分科会

#### 防犯街灯管理手法の再検討を

電気代の支払いや修理、新規設置は町内自治会等で行い、市はその費用の一部を補助しています。しかし、自治会加入率の低下により、その費用負担が重くなっていることが課題です。商店街が設置管理する街路灯も、会員数の減少で費用が負担できなくなり撤去された例があります。安心して通行できる明かりを維持するために、防犯街灯や街路灯の維持管理の手法を再検討するよう求めました。

#### インターンシップ促進と合同企業説明会

地元の企業と学生をつなぐ市の取り組みを評価しました。今後は参加企業を増やして、学生に届きやすい方法で周知し、千葉市で学んだ若者が引き続き千葉市で働きたいと思える取組を進めるよう要望しました。

(いわさき明子)



## 松井かよ子の一般質問

### 清掃工場の見学で大人も楽しみながら学べるように!

本市では2つの清掃工場(新港、北)で工場見学を実施しており、小学校4年生の社会科見学が95%を占めています。

視察で訪れた京都市南部クリーンセンターには環境教育施設「さすてな京都」が併設されているほか、煙突には京都市街が一望できる展望室が設けられ、足湯やビオトープもあり、児童だけでなく、大人も楽しめます。2026年4月に稼働予定の新清掃工場(北谷津)でも、プログラムの検討をするなどして、市民が広く環境について学べるよう要望しました。



「さすてな京都」館内ではスマホやタブレットをかざすと本物のような映像が現れます

### 観光地づくりは地元から ~マイクロツーリズムの取組~



古くなり文字が消えて読めない案内表示

地元の人たちが繰り返し訪問し、利用できる場所を整備することは、持続可能で魅力的な観光地づくりにつながります。まずは、花見川サイクリングコースの看板や表示を修繕するなど、市民向けの整備を着実に進めるよう要望しました。

### 通学路の安全対策は住宅開発前から!

市では2014年に策定した「千葉市通学路交通安全プログラム」に基づき、通学路の点検と安全対策を実施しています。地元からは信号機や横断歩道の設置、交通規制の要望が寄せられますが、信号機は「1時間当たり300台以上の車両が通るか、近くの交差点との一定の間隔があるか」、横断歩道は「歩行者の待機場所があるか」、交通規制は「一方通行や速度制限などに地域住民の同意が得られるか」などを要件としているそうです。

宅地ぎりぎりまで住宅開発が行われる場合、開発後に地元から横断歩道の要望があっても、要件が満たせず見送られることがあるそうです。

戸建住宅やマンションの開発時に通学路として想定される場所について、宅地の一部を待機場所として提供いただくなど、事業者申し入れをすること、そして、安全対策済とされたところでも、実際は学校や地域が引き続き課題としている通学路があることを、教育委員会でも把握するよう要望しました。

## いわさき明子の一般質問

### 視力や聴力が衰えても文化芸術を楽しみたい

市の高齢者調査(2019年)では「外出を控えている」人のうち、10.3%が「聞こえの問題」、9.4%は「目の障害」が理由でした。視力・聴力低下は生活の質の低下に直結するのにも、予防や症状による困難、家族の対応方法等の情報がほとんどありません。市からの情報提供と相談体制の充実を要望しました。またサークル活動や文化行事等を引き続き楽しめるよう、貸出用ヒアリングループ\*の活用や、区役所等の窓口で会話を聞きやすくする装置の設置を求めました。

\*補聴器をつけた難聴者の聞こえを支援する設備

### 下水道は水循環と命を支える「縁の下の力持ち」

下水道には人間が汚した水を浄化して地球に返し、水循環と生物の命を支える重要な役割があります。しかし、汚水処理に莫大な費用をかけ続ける事は、持続可能な社会の実現に逆行します。「みんなの下水道」パンフレットや「みんなで取り組む生活排水対策メニュー」等を使い、水を汚さない工夫の周知を求めました。



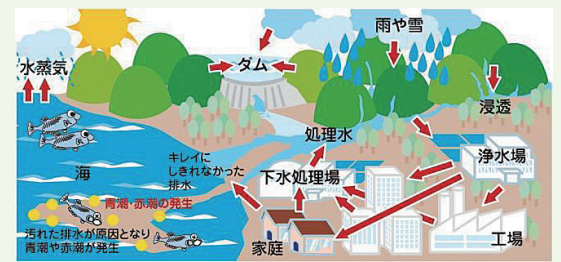
↑みんなの下水道



↑生活排水対策

### 水あるところに生き物あり「生物多様性の保全」

現在策定中の「次期水環境保全計画」は、水環境と生物多様性を一体として保全に取り組むという他市にない特長があります。計画を着実に進めるには、理解者・協力者を増やすことが必要です。若葉区の「大草谷津田いきものの里」「坂月川ビオトープ」等、水と生物のつながりを体感できる場所で、下水道部門とも連携してイベントを開くこと、また、参加者が活動を継続できるように支援を求めました。



### 子どもへの体罰や言葉の暴力をなくしたい

全ての子どもが「生まれてきてよかった」と思える社会にするのが私たち大人の役目です。子どもに関係する職員全てに対し、言葉や態度による暴力防止も含めた「子どもの権利条約」の周知啓発を求めました。子どものための条例検討に合わせ、子どもの困りごとについて第3者が代わりに動く仕組み「子どもの人権オンブズパーソン制度」の創設も要望しました。

## 合葬式樹木葬墓地が来年度オープン

平和公園に合葬式樹木葬墓地が来年度オープンします(募集は5月、供給開始10月)。

シンボルツリーを植え、カロートという名の、コンクリート枠38基を敷地の地下に埋め、袋に入った焼骨を収めます(50年間で合計30,400体収容)。おそらく、樹木葬のイメージは「いずれ土に還る」ではないかと思いますが、底がコンクリートのため、半永久的にそのまま眠ることになります。

使用料は焼骨6万円、粉状加工した場合は4万円(体積が減るため安価)。いずれも管理料は不要です。

墓地承継者の心配がいらぬという点で、人気が出ると思われそうですが、毎年一定数の募集となります。詳細は今後、市からのお知らせをご覧ください。

問合せ先 千葉市生活衛生課 電話 043-245-5214



神奈川県議会ロビーにある  
実物大の議長席と質問席



神奈川県議会にて視察をおこなった際、1階ロビーの展示に目がとまりました。議長席や質問席が設置してあり、だれでも写真を撮ることができ、協にはパネル展

市民向け県議会資料が並び、壁面には選挙区別に議員の顔がずらり



示があり、その下の棚には議会パンフレットや議会だよりが、点字版も含めて置かれていました。開かれた議会に向けて、千葉市議会での導入を提案していきます。

開かれた議会に向けて  
〈視察報告〉